



2024年1月24日

報道関係各位

九州旅客鉄道株式会社

日本信号株式会社

## 乗降駅を選択してデジタル乗車券を購入・利用できるサービスの 実証実験エリアを宮崎県内に拡大します

九州旅客鉄道株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長執行役員：古宮 洋二、以下「JR九州」）、日本信号株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：塚本英彦、以下「日本信号」）は、日本信号が開発、運営を行うデジタル乗車券発売ポータルサイト「よか旅 Signal.com」を利用して、スマートフォンで乗降駅を選択してQRコード付きデジタル乗車券を購入・利用できるサービスの実証実験を長崎県内で実施していますが、このたび、宮崎県内にも実証実験エリアを拡大します。

本実証実験では、お客さまが任意の乗車駅・降車駅を選択することにより、当該区間のデジタル乗車券を発売します。既存のデジタル乗車券は、あらかじめ区間を指定した乗車券や、フリータイプ（乗り放題タイプ）の乗車券が主流である中、このサービスは、お手元のスマートフォンで任意の区間の乗車券をお買い求めいただき、そのまま利用できることから、お客さまの乗車券購入機会の拡大と利便性向上につながるものと考えます

なお、本実証実験は、国土交通省が推進する「令和5年度 日本版 MaaS 推進・支援事業」により採択された「九州における広域 MaaS 推進事業」における交通デジタルチケット購入・利用に関するデータの取得と利活用の取組みの一つとして実施します。

今後も本取り組みを通して、交通事業者、官民が連携し、デジタルチケットの利用促進とQRコードを活用したサービスの高度化を進め、MaaSを活用した地域交通の利便性向上に取り組んでまいります。

※…「MaaS（=Mobility as a service）」

スマートフォン等を活用し、1つのアプリで目的地まで複数の移動手段（鉄道、バス、タクシー、カーシェア等）を組み合わせた最適な経路検索や観光情報、予約・決済等が可能なサービス

※…「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

※…「令和5年度 日本版 MaaS 推進・支援事業」

内閣府・総務省・経済産業省・国土交通省が連携した「スマートシティ関連事業」の一事業。今回、公共交通の面的な利便性向上・高度化や、地域における課題解決につながる持続可能な取組を実装するものとして「九州における広域 MaaS 推進事業」を含む6事業が採択されました。（令和5年6月30日 国土交通省プレス）

## 1 サービスの概要

日本信号が開発、運営を行うデジタル乗車券発売ポータルサイト「よか旅 Signal.com」にて会員登録いただいたお客さまが、スマートフォンで任意の乗降駅を選択してデジタル乗車券を購入し、チケット画面のQRコードの改札により列車のご利用ができるサービスです。

【URL】<https://www.yokatabi-signal.com/>

## 2 サービスの特長

- ・お手元のスマートフォンで利用区間（乗降駅）を選択して片道デジタル乗車券を購入できます。
- ・駅でのきっぷの発券は不要です。スマートフォンのデジタル乗車券画面でそのままご利用できます。



## 3 今回追加発売するきっぷの内容・効力

名称：「JR九州 片道デジタルきっぷ（宮崎）」

- ・下記発売対象エリア内の駅から、購入時に選択した乗車駅・降車駅相互間の片道乗車に有効なきっぷです。
- ・購入日当日限り有効です。
- ・発売額は当該区間の片道運賃と同額です。
- ・駅の窓口、券売機では発売しません。

## 4 対象エリア

下記線区の各駅相互間（計16駅）

日豊本線 高鍋、日向新富、佐土原、日向住吉、蓮ヶ池、宮崎神宮、宮崎、南宮崎  
日南線 田吉、南方、木花、運動公園、曾山寺、子供の国、青島  
宮崎空港線 宮崎空港

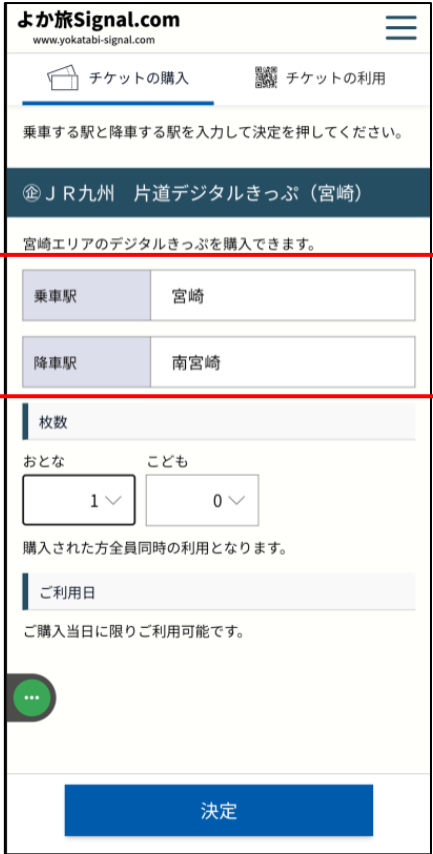
## 5 利用方法

- ・デジタル乗車券発売ポータルサイト「よか旅 Signal.com」（<https://www.yokatabi-signal.com/>）にアクセスし、会員登録をしていただきます。
- ・会員登録後、チケットの購入画面から「JR九州 片道デジタルきっぷ（宮崎）」を選択し、乗車駅、降車駅、利用人数、決済用のクレジットカード情報を入力し、購入します（決済はクレジットカードに限ります。）。
- ・利用時には、「利用開始する」ボタンを押下すると、きっぷの券面が画面に表示されます。
- ・QRコード読取端末がある駅では、乗車時（降車時）に券面のQRコードを端末にかざします。  
※QRコード読取端末がある駅（5駅）・・・高鍋、佐土原、宮崎、南宮崎、宮崎空港
- ・QRコード読取端末がない駅では、乗車時（降車時）に券面表示画面からカメラを起動し、駅改札口に掲示している入場用（出場用）のQRコードをカメラで読み取ります。

## 6 サービス開始時期

2024年2月1日（木）5時より

◎ 購入画面イメージ



任意の乗降駅を選択して購入できます。

◎ 券面イメージ/利用イメージ



【QRコード読取端末がある駅】  
デジタル乗車券面のQRコードを端末の読取部にかざして入出場します。



【QRコード読取端末がない駅】  
デジタル乗車券面の「カメラを起動する」をタップし、カメラで駅改札口に掲示している入出場用のQRコードを読み取って入出場します。



【参考】長崎県内で実施中の実証実験について

[https://www.jrkyushu.co.jp/news/\\_icsFiles/afieldfile/2023/03/09/230309\\_digital\\_ticket\\_MaaS.pdf](https://www.jrkyushu.co.jp/news/_icsFiles/afieldfile/2023/03/09/230309_digital_ticket_MaaS.pdf)

・実証実験開始日：2023年3月10日（金）

・発売しているきっぷの名称：「JR九州 片道デジタルきっぷ（長崎）」

※きっぷの内容・効力は宮崎と同様。

・対象エリア：下記線区の各駅相互間（計16駅）

長崎本線 諫早、西諫早、喜々津、市布、肥前古賀、現川、浦上、長崎  
東園、大草、本川内、長与、高田、道ノ尾、西浦上

佐世保線 早岐、大塔、日宇、佐世保

大村線 ハウステンボス、南風崎、小串郷、川棚、彼杵、千綿、松原、大村車両基地、竹松、新大村、  
諏訪、大村、岩松

・QRコード読取端末がある駅（8駅）・・・佐世保、早岐、ハウステンボス、大村、諫早、長与、浦上、長崎